

第 5 回意見交換会の開催報告

- 1.日時：令和 3 年 12 月 22 日 18 時 00 分～19 時 30 分
- 2.場所：名古屋市役所 西庁舎 12A 会議室
- 3.団体名：プロジェクト相生山、個人
- 4.市出席者：緑政土木局企画経理課 可児主査（企画）
道路維持課 姫野主査（安全対策）
道路建設課 山中課長
蒲野主査（事業調整）
緑地事業課 小林緑地計画係長

5.参加者：6 名

6.当日の次第

- (1) 開始のあいさつ
- (2) 現状報告
- (3) 弥富相生山線について
- (4) 入り込み交通対策について
- (5) 相生山緑地 緑地計画検討会の報告
- (6) 終了のあいさつ

7.主な質疑、意見等（○参加者、●名古屋市）

（弥富相生山線について）

- 平成 22 年の学術検証委員会では、問題を整理するにあたり、回避、転換、改善の 3 つで諸問題を整理する必要があるとされた。専門家曰く、どうしても改善の方に行ってしまう傾向がある。市長が道路廃止表明をしたが、それは回避に当たる。
- 廃止を進めるにあたって、検証が必要だと思うが、検証項目はどのように決めたのか。また気候変動が大きな問題になっているが、学術検証懇談会の調査項目は気候変動の問題から大きく離れているので、どのように検討されてきたのか知りたい。
- 道路建設中断、検証委員会から 10 年が経っており、市長から改めて調査をして、学識者に確認するよう指示があった。建設中断以降、国道 302 号線や名古屋第二環状線の開通、桜通線の延伸など状況が変わったことを踏まえて、調査項目は学識者の方にご相談、監修、ご指導をいただきながら決定した。
- 学術検証懇談会の議事録などを見ても、検証結果はあるが、その先をどうするかが見えてこない。緑地の中に防災倉庫を建てようとしたら、木を一本切るのにも

書類を作らされている。緑を未来の子供たちのために残さないといけないと言いつながら、現実的に名古屋市が相生山緑地でやっていることは矛盾がある。検証委員会では調べているだけではないか。

- 資料の中で緑区のことを反映されていない。緑高校や桜台高校などもあるにも関わらず、昭和高校が一番近いからとして取り上げるなど、資料に手落ちがあるのではないか。資料の作り方に何か意図的なものを感じる。
- 学識者も入った調査について、調査項目や調査結果に文句を言ってもしょうがない。私はこの調査自体はいいものだと考えている。その調査結果に基づいて、それが正しいか正しくないかを自分たちの考えで言えばいいと思う。
- 調査結果を踏まえて、環境、自然をどうしていくのか、様々な価値観がある中で、皆さんが歩み寄れるような折衷案を作っていきたいと考えている。
- 学術検証懇談会の会議記録と概要が違っている。議会や市長へ提出する提言にならないのか。
- 学識者の意見は非常に貴重なもの。
- 環境保全をどうするのかをまず考えないといけない。すでに（相生山緑地内に）ある道を使って、う回路を造るなど検討できないのか。
- 道路建設派の方と直接話したことが無い。そういう方たちと話をしないとイケないと考えている。そういう場を設けてほしい。
- 道路を造る目的が、緑地なのか渋滞回避かがわからない。ポールを立てることで走りにくくなったことは事実。地元民としては、邪魔だ。家の前に立てたポールを撤去しているところもある。実際、道路が開通しても、通り抜ける台数は変わらないのでは。
- 相生山緑地はヒメボタルが有名だが、最近キツネの親子を見た。道路を通すことによって自然を破壊する。ここ40年で大きく変わってしまった。道路を通すと自然を破壊してしまう。何か違う見方はできないか。
- 多くの動物がいるのは調査でわかっているが、それらも踏まえて、折衷案を考えていきたいと思う。様々な意見がある中で、今の状況、データなどを踏まえてご理解いただけるものを考えていけたら思う。
- 平成22年の学術検証委員会の報告書によると、道路を造ると直接流出（地中にしみこむことなく河川等に流出するもの）が50%以上になるとのこと。それは困る。
- 整備済みの道路施設を撤去すると環境に大きなダメージを与えるので、それらを有効活用するというのを踏まえて折衷案を考えるべき。

○相生山緑地を緑の塊として残したい。世界の流れに沿って、その流れを守ってほしい。道路を造ったら笑われる。

(入り込み交通対策について)

○野並の交差点が混んでいて、野並三丁目を通り抜けることが多い。警察へゾーン 30 の要望をしたが、今はゾーン 30「プラス」に変わったとのこと。ゾーン 30 プラスとは、道路の狭窄や段差でスピードが出ないようにすることだが、最終的には天白土木事務所が別の対策を実施することで決定した。もっと強力な対策をしてほしい。山根地区ではゾーン 30 化しているので、我々にもいい方法を提案してほしい。

●天白土木事務所から話は聞いている。また改めて一緒に考える場を作っていきたいと考えている。

(その他)

○30 億かけた工事を中断、市が買った土地は塩漬け、緑地内なので下水もない。苦情が多い。ただ、天白土木事務所は、道路の傷みの補修や、草刈などしっかりやってくれるのでうれしい。いろいろと緑地計画検討会でも話合いをしているが、とにかくできることからやると効果があるのでは。協力できるところは協力したいので、やれることを教えてほしい。